

公 開 文 書

研究課題名 (研究番号 715)	肝内結石症第9期全国調査
当院の研究 責任者(所属)	消化器内科 科長 階子 俊平
他の研究機関 および各施設の 研究責任者	研究責任者 杏林大学医学部付属杉並病院 消化器外科 鈴木 裕 (共同研究機関) 日本消化器病学会認定施設、日本消化器外科学会認定施設、日本 胆道学会指導施設、厚生労働省難治性疾患政策事業「難治性の肝・ 胆道疾患に関する調査研究」班班員所属施設
本研究の目的	肝内結石症は良性疾患でありながら完治が難しく、再発を繰り返すことが多い疾患です。また、反復する胆管炎や、それに続く敗血症、胆管癌の合併など、臨床経過において大きな問題があります。そのため、原因・病態の解明や治療法の確立を目的に厚生労働省の調査研究班が組織され過去に8回の全国調査が行われ、その特徴が徐々に明らかになってきました。しかし、その取扱いについてはいまだ一定のコンセンサスが得られていなく、施設間で異なる場合が多いのが現状であります。本研究は、新規の多施設全国調査(横断調査)によって肝内結石症診療の現状と過去の結果との異同を把握し解析することが本研究の目的です。
調査データ 該当期間	2023 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日
研究の方法	対象となる患者さんは2023 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までの間に肝内結石症の診断で当院へ通院、もしくは入院された患者さんです。個人を特定できる情報を除外した形で患者情報、データを登録します。また登録 5 年後(2028 年)に経過中の転帰や合併症などの再調査を予定しています。
個人情報の 取扱い	患者さんの診療情報は、氏名や住所などの個人情報を削り、代わりに新しい符号をつけて匿名化を行います。また個人情報責任者である熊本市市民病院消化器内科科長 階子俊平のもとで厳重に管理されます。今回提供する診療情報を利用して実施される研究については、その研究成果を論文等により公開されますが、氏名を

	明らかにすることは一切なく、公開内容には個人のプライバシーに関わることは一切含みません。 本研究の参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。患者さんに関するデータを削除します。 ただし、論文発表などですでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。
本研究の資金源 (利益相反)	研究は「厚生労働省難治性疾患政策研究事業」の支援を受けて、難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究班・肝内結石症分科会のもとで行われます。また本研究にかかわる資金は厚生労働省から交付された科学研究費を資金源としています。本研究の計画・実施・報告において、研究の結果および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在せず、研究の実施が研究対象患者さんの権利・利益を損ねることはありません。
お問い合わせ先	熊本市民病院 消化器内科 階子俊平 電話：096-365-1711
備 考	